

令和2年 市長年頭所感

《第6次総合計画の将来像》

「あたらしく、知多らしく。梅香る わたしたちの緑園都市」

市制施行50周年の節目を迎え、これまでの「知多らしさ」を活かしつつ、新たなまちづくりにチャレンジします。

次の100周年に向け、市民が幸せに暮らせるまちを市民の皆様とともに創りあげます。

＜今年予定している重点事業＞

◎都市拠点「朝倉駅」のにぎわいづくり

- 令和4年の供用開始に向け、朝倉駅前ロータリー改良工事に着手します。
- 本市初のPFI事業による市庁舎、図書館、子育て支援施設の整備、公有地を活用したホテル、商業施設等の誘致を進めます。また、5月から事業者の公募を行い、今年中には優先交渉権者を選定し、整備の概要をお示しします。

◎子育てと学びを地域で支える仕組みづくり

- 放課後児童クラブの育成料を引き下げるとともに、民間事業者の一部業務を委託します。また、民設民営の放課後児童クラブへの補助制度を設けます。
- 保育園や幼稚園の民営化を進めるため、そのあり方を検討する委員会で、施設の更新計画を踏まえ、市が果たすべき役割や、民営化の方法、時期などについての具体的な計画を3月までに取りまとめます。
- 小中学校に電子黒板や学習用端末をはじめとした教育ICT環境の整備を計画的に進めます。今年は小学校において整備を進め、学習活動の充実を図ります。

◎いきいきと健やかに暮らす仕組みづくり

- 平成15年度以来の開催となる市民マラソン大会を、11月15日（日）に開催します。佐布里池周辺を走るコースとし、今後も継続して開催します。



- ・愛知県サッカー協会が、10月からふれあい広場にサッカー場を整備することに伴い、その代替施設として、名古屋港南5区に、少年野球やソフトボール、グラウンドゴルフなどに利用できる多目的グラウンドを整備します。
- ・認知症施策推進条例や手話言語条例の制定、次期地域福祉計画等の策定を行うなど、地域共生社会の構築を進めます。

◎安全・安心に暮らせるまちづくり

- ・4月1日からコミュニティ交通「あいあいバス」の北部コースと東部コースを統合し、朝倉駅を起終点とする北部循環コースに変更します。北部循環コースは、市民の意見を踏まえ、商業施設や西知多総合病院へのアクセス向上を図るとともに、新たに南加木屋駅を経由するルートとし、駅利用の利便性を向上させます。

◎未来に広がる産業・にぎわいの基盤づくり

- ・知多新南土地区画整理事業は、工業系基盤整備の造成工事が始まりました。また、知多信濃川東部土地区画整理事業では、住宅用地と商業用地の創出を進めており、今年度中には工事が始まる予定です。
- ・知多大興寺（2期）地区工業用地開発事業は、令和3年度の造成開始に向け、開発に関連し必要となる排水施設等の整備を進めます。
- ・西知多道路については、昨年、日長インターチェンジ（仮称）から青海インターチェンジ（仮称）までが、県施行区間として新たに事業化されました。事業化された知多市区間の事業着手及び未事業化区間の国による早期事業化に向け、国や県に対し要望してまいります。

◎市制施行50周年記念事業

- ・記念式典を9月6日（日）に開催します。また、同日に、朝倉の梯子獅子や、尾張万歳など本市が誇る伝統文化を結集した「伝統芸能フェスティバル」を開催します。これまでの50年の歩みを振り返り、未来につなぐ記念事業とします。

◎その他

- ・業務の効率化のため、RPA（ロボットによる業務自動化）を導入し、職員の時間外勤務の削減などを図ります。